

# 仙台 放物型・楕円型方程式研究集会

## － ラプラスianの解析と幾何 －

このたび標記の研究集会を下記の要領で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

世話人 石毛 和弘 (東北大・理)  
石渡 通徳 (室蘭工大・工)

### 記

日時：2007年11月16日(金) 13:50～11月17日(土) 17:10

場所：東北大学理学部合同棟 801号室

### プログラム

#### 11月16日(金)

- 13:50～14:40 生駒 典久 (早稲田・理工)  
非線形シュレディンガー方程式系の Standing Wave の存在について
- 14:50～15:40 山崎 教昭 (室蘭工大・工)  
Allen-Cahn 型方程式に対する最適制御問題とその数値実験について
- 16:00～17:30 壁谷 喜継 (阪府大・工)  
非線形楕円型方程式の球対称解について  
— Pohozaev の等式の効用 — 基礎編

#### 11月17日(土)

- 10:00～10:50 川上 竜樹 (東北大・理)  
Entropy dissipation methods for the sign-changing solutions of some semilinear heat equations
- 11:00～11:50 平岡 裕章 (広島大・理)  
Topological regularizations of the triple collision singularity in the 3-vortex problem
- 13:30～15:00 壁谷 喜継 (阪府大・工)  
非線形楕円型方程式の球対称解について  
— Pohozaev の等式の効用 — 応用と展望編
- 15:20～16:10 石渡 聡 (筑波大・自然)  
ベキ零離散群上のランダム・ウォークの漸近挙動について

16 : 20 ~ 17 : 10      高坂 良史 (室蘭工大・工)  
表面拡散流方程式の時間大域解の存在と定常解の安定性について

尚, この研究集会は, 文部省科学研究費 基盤研究 B 課題番号 19540224 「拡散方程式の解の形と漸近挙動」 代表: 石毛和弘 (東北大・理) の研究計画の一環として企画されました.